

小4 社会「きょう土の伝統・文化と先人たち」

単元の流れ（全10時間）

時	・主な学習活動 ○With タブレの活用方法 ★With タブレを活用した結果
1 ・ 2	・身のまわりにはどのような古いものがあるかを話し合い、学習問題を作る。 【With タブレ活用ポイント】 ○「情報の収集」ページを参考に、身のまわりの古いものについて、情報を集める方法を知る。 ★インターネットや副読本など、複数の方法で情報を集めることで、建造物だけでなく、祭りや行事についても調べることができた。(写真1) ○「思考ツール」で考えを共有し、そこから、学習問題を設定する。 ★なぜ古い建物や祭りなどが現在まで受け継がれてきたのかについて、Jamboard を使って考えを共有し、身のまわりの古いものについて、課題を設定することができた。
3 ・ 8	【3・4時】 ・古くから残る建物は、どのように守られてきたのかを調べる。(文化財の保存) 【5・6時】 ・古くから伝わる芸のうは、どのように受け継がれてきたのかを調べる。(芸能の伝承)(写真2) 【7・8時】 ・昔から続く祭りには、どのような願いが込められているのかを調べる。(行事や祭りの継承) 【With タブレ活用ポイント】 ○「情報の収集」ページを参考に、身のまわりの古いものについて、情報を集める方法を知る。 ★はじめは、インターネットに偏っていたが、調べる内容に応じて、情報を集める方法に変化が見られた。本で調べるだけでなく、メールや Google Meet を使って質問したいという児童もいた。
9	・県内にある古くから残るものについて、まとめる。 【With タブレ活用ポイント】 ○身のまわりの古いものについて、「整理・分析」のページを参考に、集めた資料を整理する。 ○整理された資料を、「まとめ・表現」のページを参考に、分かりやすくまとめる。 ★写真や図、表の良さを知り、伝えたい内容に応じて資料を活用することができた。
10	・地域に古くから残るものを受け継ぐために、自分たちにできることを考える。 【With タブレ活用ポイント】 ○「思考ツール」(Y・X・W チャートなど)で考えを共有し、そこから自分たちにできることを考えた。 ★古い建物や祭りなどを受け継ぐ人の努力や願いなどの気持ちから、自分たちにできることを考えることができた。



身のまわりの古いものを調べている様子(写真1)



古くから伝わる芸のうを調べている様子(写真2)

○グループごとに、With タブレを活用しながらまとめる方法を考えた。以下は、まとめの様子。

- ・古くから残る建造物を模造紙にまとめた。インターネットで集めた写真資料を印刷して貼るなどの工夫が見られた。
- ・古くから続く祭りについて新聞形式でまとめた。地図や写真を活用して分かりやすくまとめるなどの工夫が見られた。
- ・県内の芸能の種類などについてリーフレットでまとめた。文章の中には、読む人に向けたクイズを入れたり、詳しい情報が載っている Web サイトを紹介したりするなどの工夫が見られた。